

俳句通信

特別作品20句 青山 丈「先に来て」

特集Ⅰ〈俳句各賞選者10句〉

星野 椿 「霜夜」	今井 聖 「暗い屏風」
今瀬剛 「秋の渚」	渡辺誠一郎 「秋の水」
栗田やすし 「木の実落つ」	星野高士 「ライスカレー」
中村和弘 「絶壁」	三村純也 「秋から冬へ」
西村和子 「いつしか」	白濱 羊 「平泉秋色」
伊藤伊那男 「秋果」	

特集Ⅱ〈下鉢清子第11句集『続・貝母亭記』を読む〉

加藤耕子/小川美知子/前澤宏光/鈴木五鈴

特集Ⅲ〈西池冬扇著『明日への触手』を読む〉

栗林 浩/筑紫磐井/青木亮人/柳生正名

【新作24句】

波戸岡 旭「刈田道」

【競詠16句】

恩田侑布子「阿々」

岩田由美 「後ろ肢」

●作品●下鉢清子・船越淑子・安西 篤・
岩淵喜代子・酒井弘司・加古宗也・小島 健・
渡辺純枝・榎畑廣太郎・村上頼彦・矢須忠由・
奥名春江・瀬戸清子・山田貴世・大木あまり・今富節子・
河村正浩・大竹多可志・長島衣伊子・水田光雄・五十嵐秀彦・
加藤かな文・柏原麗雨・落合美佐子・二ノ宮 雄・田中貞雄 ほか



特別作品

20句

先に来て

青山 丈

エープリル・フールの靴を家で脱ぐ

桜掃くひと随分と年をとる

桜葉降る四五日は多分降る

窓拭いておくと八十八夜かな

持ち上げてまたそこへ置く水中花

特集 I

俳句各賞選者 10句

ここ1年の間に著名な俳句賞の選者をされた11人の俳人に
各10句を寄せていただきました。

ここから現代俳句の姿が見えてくるかもしれません。

星野 椿	今瀬剛一
栗田やすし	中村和弘
西村和子	伊藤伊那男
今井 聖	渡辺誠一郎
星野高士	三村純也
白濱一羊	

特集Ⅱ

下鉢清子 第11句集

『続・貝母亭記』を読む

この秋、白寿の下鉢清子氏が第11句集『続・貝母亭記』を上梓されました。
この句集を4人の俳人に読んでいただきました。

詩の国

鳴いてゐるから蟬しぐれ

長寿の詩心

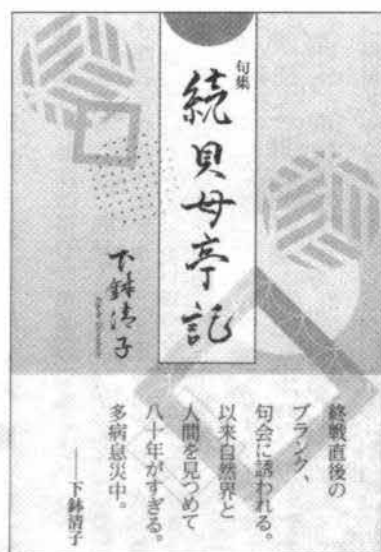
弥増す気骨ゝ百歳のとばっ口ゝ

加藤耕子

小川美知子

前澤宏光

鈴木五鈴



特集Ⅲ

〈西池冬扇著

『明日への触手』 を読む〉



この秋、弊社から刊行された西池冬扇氏の『明日への触手』を
4人の方に読んでいただきました。

明日の俳句への影響力を持つ俳人――栗林 浩
『明日への触手』・読後 ----- 筑紫磐井
個人的な実感、評論のありよう ----- 青木亮人
メタへのまなざし、他者への思い ----- 柳生正名



前列右から大元氏、菊田氏、中西氏
後列右から星野氏、藤本氏

ゲスト 大元祐子・菊田一平

中西夕紀

ホスト 星野高士・藤本美和子

編集部

本日の参加者は「星時計」主宰の大元祐子さん、「や」「晨」同人の菊田一平さん、「都市」主宰の中西夕紀さん。もうお一人、参加を予定していたのですが、昨日コロナの濃厚接触者となり、本日は出席出来なくなりました。5句投句、7句選です。忌憚のない意見交換をお願いいたします。

高士 では、始めます。今日5人での句会です。くまなく点が入ったようです。まず、4点句から。

新海苔の土産も大師帰りがな

（菊田一平）

美和子 作者が誰だか分かっちゃうわね（笑い）。

祐子 粹な感じがして、よかったです。「……かな」の詠嘆も効いていると思いました。

一平 川崎大師に一度、行ったことがあるんですが、参道に並ぶ飴屋の飴切りの音が聞こえてきました。この句を読んだとき「新海苔」がいい味を出しているなと思いました。川崎とか品川のあの辺りは海苔の本場なんですね。わたし